

別記様式（第4条関係）

許可に係る行為の廃止届

1 許可年月日及び指令番号	令和 年 月 日 奈良県指令五土第 号
2 河川名及び許可に係る場所又は区間	一級河川 川
3 許可の種類別	
4 許可の内容	
5 廃止の期日	令和 年 月 日
6 廃止の理由	
<p>上記のとおり許可に係る行為を廃止したいので、奈良県河川管理規則第4条の規程により届け出ます。</p> <p>令和 年 月 日</p> <p>奈良県五條土木事務所長 殿</p> <p>届出人 住所</p> <p>氏名</p>	

注1 用紙の大きさは、日本工業規格A4とする。

注2 住所及び氏名については、法人又は法人格を有しない団体の場合は、その所在地、名称及び代表者の氏名を記入すること。

【河川占用物件の廃止の際に必要な書類について】

河川占用物件を廃止する際は、廃止届の他に基本的には工作物の撤去を行うための河川法26条の届出を併せて提出していただきます。（以下、主な添付書類の例）

◎廃止届 — — — — — — — — — —

- 1 : 廃止届
- 2 : 直近許可書の写し及び条件の写し
- 3 : 占用物件の位置図（占用箇所が分かる縮尺のもの）
- 4 : 占用物件の図面等

◎26条の届出 — — — — — — — — — —

- 1 : 別記様式第八（甲）
- 2 : 様式（乙の4）
 - ・ 河川の名称：〇〇川水系 一級河川 〇〇川 〇岸
（〇岸の記載は右岸または左岸の片側のみ使用する場合）
 - ・ 目的：「〇〇のため」と占用目的を簡潔に記載してください。
 - ・ 場所：占用する場所の地番を記載してください。
なお、河川の底地が無番地の場合は「〇〇市〇〇町〇〇番地先」と占用場所に隣接する地番を記載します。また、河川保全区域の設定がある箇所は河川保全区域の内と外を分けて記載します。
 - ・ 工作物の名称又は種類：設置する工作物の名称等を記載
 - ・ 工作物の構造又は能力：設置する工作物の構造や能力、寸法等を記載
 - ・ 工事の実施方法：工事の手順を簡潔に記載
例：仮設工→〇〇撤去→原状復旧
 - ・ 工期：工事期間を記載してください。
※天候等の影響により工事期間内に河川工事を行う日数がある場合は「内〇日間」と記載してください。
 - ・ 占用面積：占用する面積を記載してください。
※工事中に仮設分等の面積がある場合は、仮設面積も併記してください。
 - ・ 占用期間：現在の許可書の占用期間を記載してください。

26条の届出（つづき）

3：位置図

- ・撤去する占有物件の場所が分かる縮尺のもの。
- ・現在の占有場所に印しをつけてください。

4：現況平面図（1/500以上）

- ・河川区域線を赤色の線で記載してください。
（境界明示が無い場合は赤色破線で記載）
- ・撤去工事及び復旧範囲等を記載してください。

5：現況縦横断面図（1/100以上）

6：撤去後の平面図（1/500以上）

7：撤去後の縦横断面図（1/100以上）

8：構造図等の工作物の図面

- ・復旧に既製品の構造物を使用する際はカタログの写しも記載してください。

9：工事工程表

10：丈量図及び面積計算書

- ・復旧範囲の根拠となる資料を添付してください。

11：法務局備え付けの公図

12：登記簿謄本

13：現況写真

14：その他（工作物の内容により以下の書類の添付を求める場合があります。）

- ・水利組合等の同意書、隣接承諾書、委任状、水理計算書、構造計算書、安定計算書、境界確定書の写し、他法令の許可書、その他の書類

【 提出先 】

奈良県五條土木事務所 用地・管理課 管理係

奈良県五條市岡口1丁目3番1号 電話：0747-23-1154（直通）

※五條土木事務所所管の河川についての提出先となります。

※他の土木事務所所管の河川については各土木事務所へお問い合わせください。